令和7年度使用教科用図書の採択について

標題の件について、次のとおり教育委員会の議決を求める。

令和 6年 7月25日

富田林市教育委員会
教育長 植野 均

1. 内容

別添のとおり

2. 参考資料

富田林市立中学校教科用図書選定委員会答申
「令和7年度使用 教科用図書選定資料 中学校用」

令和6年7月25日

富田林市教育委員会
教育長 植野 均 様

富田林市立中学校
教科用図書選定委員会
委員長 藤岡 章寿

令和7年度使用中学校教科用図書の選定について（答申）

本選定委員会は、令和6年4月教育委員会会議において諮問のありました「令和7年度使用中学校教科用図書」の選定について審議を進め、その結論を得ましたので別添「選定資料」を添付し答申いたします。

児童生徒の実態により、下学年、文科省著作の教科書では指導が困難と判断致します。

つきましては、学校教育法附則第9条による教科用図書として下記一般図書を採択下さいますようお願い致します。

(小学校)

児童名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
該当者いません					

(中学校)

生徒名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
A	2年	国	18pt	本生徒は、令和元年に行ったWISC-IVやK-ABC IIの検査で、読み書きにおいて学習の遅れを指摘され、特に文字の認識において課題が認められた。学校では、拡大教科書とデジタル機器や拡大コピー等を併用することで、効果的に学習を進めている。本生徒の視機能の課題を勘案し、前年度に引き続き拡大教科書の使用を希望するものである。	

令和7年度使用

教科用図書選定資料

中学校用

国語	1
書写	2
地理	3
地図	3
歴史	4、5
公民	6
数学	7、8
理科	9
音楽	10
器楽	10
美術	11
保健体育	12
技術	13
家庭	14
英語	15
道徳	16、17

※教科書の配列順は発行者番号順

国語

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい国語	三省堂	現代の国語	教育出版	伝え合う言葉 中学国語	光村図書	国語
項目	所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 巻末には「言葉の力」と題して、各領域の言語的学習について一覧が掲載されている。 目次には、教材ごとに領域が図示されており、領域別にも各教材が整理して掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の領域別教材一覧により、各分野でのつきたい力や目標が明示され、見通しを持って学習できるようになっている。 自分の意見を図示化するための手順が、思考の方法の種類ごとに巻頭にまとめられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、観点別に教材が分類され、言語活動や学習内容が端的に示されている。 今まで作品の後ろにあった学習する内容が、作品の最初にあり、これから何を学ぶのか、学習者にとってわかりやすい構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に観点別一覧表が掲出され、学習教材が分類されていることで、学習内容や身につけたい力が把握できるようになっている。 言語感覚を豊かにする学習に生徒が主体的に取り組めるよう、国語科の目標達成に必要な内容が取り扱われている。 文章教材の冒頭に目標を明示し、後の学習ページでは思考の過程と目標に対する振り返りが丁寧に示されている。 情報を収集、整理し思考を深めるための教材が年間を通して配置されている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 平和学習にも生かせる「原爆の被害を伝える活動について」や、「多様性と共生社会」と題した忍足亜希子の文章が掲載されている。 条例やポスターを用い、「未来を考えるための九つのテーマ」など、SDGsにも関連した内容が掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平和学習や防災学習にもつながる教材が掲載されている。その中でも、防災については集団心理の危険性についても述べられている。 SNSでの思いの伝え方についても言及できる文章が掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平和学習において、『ベンチ』ではナチスドイツやユダヤ人迫害についても考えられる作品。1年で世界に目を向け、2、3年生で国内の戦争について学び、様々な視点から考えさせられる構成となっている。 バリアフリーの観点においても、谷真海を扱うことによって、パラリンピックにも話題を広げられる。 メディアについての教材も充実している。 		<ul style="list-style-type: none"> SDGsに関連するテーマを幅広く取り扱っている。 情報教育に関する教材を配置し、3年間でメディアリテラシーについて自己の考えを深められるような構成になっている。 戦争・平和について考える教材が各学年に配置されている。 内容に関して、人権教育の専門家による校閲を受けている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を喚起し、日常生活や社会生活に関わる題材が取り上げられている。また、「読むこと」の文種や文章構成、文章量は、発達段階に適したものとなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 文章構成の仕方や話し合いの仕方、読み方や考え方など、基礎的な重要事項は繰り返して提示するなど、言葉の力の定着のための工夫を凝らしている。 教材で取り上げる話題・題材は、生徒の学校生活や身のまわりの日常生活から、社会生活へと広がるよう配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年の配当時間の合計は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の配当時数を確保し、総時数では、書写の時間を引いた残りの時間内に収まるように設定している。 「学びナビ」や学習の手引き「みちしるべ」、4月から3月へ、1年生から3年生へと、段階的に重点を積み上げていくようにし、「習得」と「活用」を、螺旋的に難易度を上げながら反復しておさえっていくことができるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階や習熟の過程を考慮し、全体を段階的かつ系統的に構成されている。 小学校から中学校への円滑な接続を測る特設教材「言葉に出会うために」では、生徒の学習意欲を向上させるとともに、生徒自身が日常生活、学校生活、学習場面などに取材し、必然性を持って活動し、相手や目的を明確に意識できるよう話題・題材の選定に配慮がなされている。 各学年の巻末に「資料編」を設け、本編の学習教材に関連した資料をまとめられており、実情に応じて、補充的にも発展的にも扱えるように配慮されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習指導のバランスを考慮して、教材が配列されている。 教科書は本編と資料編から成り、学習指導要領の内容は本編に網羅され、資料編には、「読むこと」の補充教材と、学習の参考となる資料が掲載されている。さらに、多数のQRコンテンツが用意されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力等を育成する学習が、特定の時期に偏ることなく、バランスよく適切に配分されている。 生徒の発達段階や学年の特性、学校生活や行事等、季節感などを考慮しながら、単元の系統性を明確にしている。各学年、同じ時期に同じ領域の学習ができるように配列されており、学びの積み重ねが実感できるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の明確化、焦点化を図り、学習の見通しがたてやすくなっている。 教材ごとに重点的に学ぶ事項を設定し、「学びナビ」「ヒント」「目標」などを示すことで、生徒が自らの学習を認識し、次の学習へと向かえるよう工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> 各領域の学習が特定の時期に偏ることのないように、教材をバランスよく配列している。 教材数や領域、時数のバランスが工夫されている。 「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」で構成され、習得した「知識及び技能」を活用して試行・判断・表現を繰り返す中で、着実に資質・能力を身につけられるように配慮されている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に対応したものがあり、「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」を相互に関連させながら育成することができる。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 文法の導入教材「文法の窓」は、苦手意識のある生徒も取り組みやすいように、ゲーム仕立てになっている。 二次元コードの掲載があり、学習の流れの確認や個人で映像資料などが見られることで、主体的な学びに向かう力を引き出す工夫が見られる。 未習漢字だけでなく、小学校で学習しない漢字には全て、初出箇所振りに振り仮名が付けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学校から中学校への学習移行が円滑に進むような教材を取り扱っている。 条件に応じて答える、図表を読み取る、課題作文等、学力調査等をふまえた学習と入学試験への対応に力を入れている。 さまざまな場面で活用できる実践的知識や具体的な学び方を「資料編」としてまとめられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学校から中学校への学習移行が円滑に進むような教材を取り扱っている。 色調のバランスだけでなく、形のうえでも区別しやすいよう工夫されている。色覚の個人差を問わないカラーユニバーサルデザインに対応している。 		<ul style="list-style-type: none"> 例示や図解によるわかりやすい解説や、思考を誘う話型や文型を提示し、学んだことをCBT（コンピューターを使用した試験）形式で確認できる仕組みになっている。 二次元コードの掲載があり、一人一人の興味関心や課題に応じて活用できるようにしており、主体的な学びに向かう力を引き出す工夫が見られる。 語彙力を高めるために、「語彙ブック」があり、思考や感情を的確に言語化できるよう工夫されている。 豊富な図版資料や「季節のしおり」などで日本語特有の美しさを伝えている。 1～3年生の教科書を縦に並べると絵がつながり、3年間の積み上げ、成長、求められる力が表現されている。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 各教材のあとに「言葉」の演習問題がついており、語彙力を高める工夫がされている。 SDGsに関連する教材、現代的な諸課題を扱った教材が3年間にわたって用意されており、「言葉の力」が生きる力として定着する仕組みになっている。 高校の学習を見据えた教材が用意されており、中高の接続が意識されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 漢字ドリル、解説動画等、500点以上の多種、多数のデジタルコンテンツ（デジタル資料）が用意されている。 各学年の巻末に「読み方を学ぼう」の一覧が示されており、既習の図解を見直し、繰り返し確認しながら活用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 発展的な学習や家庭学習の手引きとしても使える「みちしるべ」が用意されている。 情報活用能力の育成を手助けするコンテンツとして「まなびリンク」（デジタル資料）が用意されている。 		<ul style="list-style-type: none"> SDGsを題材に、3学年を通して情報活用能力を養う教材があり、実生活や将来に生きる情報活用の方法が学べる。 2年生では、「職業ガイド」を作る教材等、地域や社会との関わりに気付けさせ、キャリア教育に結び付けられる教材がある。 読書を身近に感じられるように、1年生では中学生が主人公の本の一部が掲載されている。 学んだことをCBT（コンピューターを使用した試験）形式で確認できる仕組みになっている。 	

書写

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい書写	三省堂	現代の書写	教育出版	中学書写	光村図書	中学書写
項目	所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭で小学校での既習事項と関連させて、書写学習の目的を確認している。 学年ごと、項目ごとに学習事項を明確に示している。 学カテスト問題は、学年ごとに掲載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目次では、3年間の学習内容が一覧で掲載されている。 学カテスト問題がついており、知識を活用しながら考えさせられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 目次では3年間の学習内容が一覧で掲載され、また実技でどのような文字を取り扱うかという点まで確認できる。 各教材に学習の目標・振り返りが示され、生徒の主体的な学習活動を促している。 実際に書くページがあり、学習内容を確認しながら演習できるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 3年間の学習内容、目標が明確に示されている。各教材にも学習の目標・振り返りが示され、生徒本人が自身の学習を省みやすい構成となっている。 興味をもって学び、書く力を身につけ、学びが生かせるように教材が設定されている。 書写の標準時間数に合わせた学習内容が盛り込まれ、効果的に書く力を身につけるよう工夫されている。 	
取人扱権の	<ul style="list-style-type: none"> 文字の変遷の中で、平仮名、カタカナの成立についても触れている。またそのテーマが現代のデジタルフォントまでつながっている。 キャリア教育・防災教育を題材にした教材が盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末にある資料編では文房四宝や書の古典（4世紀のもの）等、学習者が歴史にも触れることができる。また、書き手の個性を尊重できるような内容も掲載されている。 文字に携わる人の思いを取り上げ、文字と人との関わりを考えるきっかけをつくっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 書道に用いる道具の作り方に触れている。 文字の変遷だけでなく、活字の変遷についても学べるページがある。 歴史上の人物が実際に書いた文字が掲載され、室町時代から大正時代にかけての著名人が紹介されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 書の歴史や漢字の成り立ちの学習を通し、近隣諸国との文化的な交流について学び、国際的視野に立って他国を尊重する態度を養うよう配慮されている。 SDGsの取組みとしてユニバーサルデザイン書体についてのページを設けている。 作品例でアイヌの文化を取り上げている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 成長期の生徒が負担なく運筆できる正しい姿勢を身につけられるように、書く時の姿勢や筆記具の持ち方を丁寧に解説されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 3年間の学びを見通した学習ができるとともに、前学年までの学習も含めて随時振り返ることができる。 書風は、中学生の発達段階に配慮し、書写の学習のポイントをおさえやすいものとなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 硬筆・毛筆教材の内容と程度は、各学年の生徒にとって理解しやすいものとなっている。 学年間や校種間の円滑な接続が行えるように、先の学年で学習する内容や、小学校、高等学校で学習する内容との関連に配慮している。 写真や図版を活用し、平易に解説するなど、生徒自身が見てわかり、実践できるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 表記や用語は学年で段階を設けつつ統一している。 発達段階に応じてわかりやすい文章で表現している 各学年で求められる学習要素を効率よく身につけられるよう単元・教材を精選し、発達段階に即して系統的・段階的に配列している 巻頭に小学校での学習内容をまとめた「書写スタートブック（姿勢、筆記具の持ち方など）」を設け、小学校からの円滑な接続を図るとともに基礎・基本を活用の中で定着できるように配慮している。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 配当数内に各学年で求められる資質・能力を着実に身につけられるように、単元・教材を精選し、適切な単元数、分量で硬筆と毛筆ができるようにしている。 学習のポイントを「書写のかぎ」として明確化し、限られた時間内で効果的・効率的に力をつけられるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「基礎編」「本編」「資料編」の3部構成となっており、基礎編では小学校までの既習事項、本編では必修の学習内容を扱っている。 資料編「日常の書式」「書写の広場」では、日常生活、社会生活の中で必要となる書式を確認したり、伝統文化に親しむ資料にふれたりすることをとおして、幅広い知識を得られるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教材の範囲・分量は、国語科書写の指導事項を過不足なく学習できるようになっている。 文字の書き方の秩序性を理解し習得するために、姿勢・執筆や、硬筆・毛筆の筆使い、字形の整え方などの基礎・基本の学習が確実に身につくようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化することで効率的に力をつけられるよう配慮している。 各教材は目標の把握、基礎・基本の理解、確認、活用、振り返りという学習の流れがひと目でつかめる構成で、生徒が見通しをもって学習できるようになっている。 本編と硬筆練習帳「書写ブック」を随時相互参照しながら活用することで生徒の実態や学校、地域の特性に合わせた指導ができるように配慮している。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> B5のワイド版で構成されており、写真や図を多く取り入れ、視覚的に分かりやすくしている。 二次元コードを提示し、運筆動画が見られるようになっている。 UDフォントを用い、色使いにもユニバーサルデザインに沿った配慮がある。 単元の終わりにまとめとして「書写テスト」があり、知識の定着がはかれる。 小学校から中学校への学習移行が円滑に進むような教材を取り扱っている。 		<ul style="list-style-type: none"> 見開き完結のレイアウトで、学習の順番がひとめでわかるようになっている。 カラーユニバーサルデザインを考慮した色使いである。 二次元コードを提示し、姿勢と筆の持ち方などが見られるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 半紙形を維持した紙面によって、書き始めの位置や字形の整え方等がわかりやすくなっている。 UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを考慮した色使いである。 二次元コードを提示し、運筆動画が見られるようになっている。 見開き1ページで一単元を学習できるレイアウトになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインを考慮した色使いをしている。UDフォントを使用している。 「文字の変遷」が分かりやすく説明されている 二次元コードを読みとれば、準備の仕方から運筆、学習に役立つ資料などが豊富に掲載されていて、深い学びにつなげることができる。 別冊の書写ブックがついており、教科書と連動して、硬筆練習ができるようになっている。 朱書きの運筆の確かめで、筆の位置が示されていて分かりやすい。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の書写活用ブックで情報を適切に伝えるためにどんな方法を用いるのがよいか、細かく実用例が示されている。 巻末に辞書のような常用漢字の楷書・行書例が配置されている。 「生活に広げよう」のコーナーで例に挙げられている内容が、地域や社会とのつながりを意識したものとなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 社会の中で文字に関わる人を紹介し、文字文化と人の思いにふれられるようにしている。 手紙の書き方、新聞の書き方など、表現活動に使える内容が分かりやすく取り扱われている。 巻末に補助の手本教材と常用漢字の楷書・行書体を辞書のように載せている。 小学校、高校との連携も考えられており、とりかかりやすく、発展的な学習につながりやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末に常用漢字の楷書・行書体を辞書のように載せている。 理科や社会のレポート等を教材にし、各教科の書く活動と連動して学ぶことができる。 実社会で活用できる基本的な手紙の書き方や小包伝票の書き方等を豊富に掲載している。 		<ul style="list-style-type: none"> 入学願書の書き方や実社会で活用できる基本的な手紙の書き方や小包伝票の書き方等を豊富に掲載している。 巻末に常用漢字の楷書・行書体を辞書のように載せている。 身近な所で用いられている様々な書体に注目した教材がある。 学習を踏まえて自分の好きな言葉を自分なりに表現するなど学校行事に書写を生かすことができる教材が多く配置されている。 	

地理

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい社会 地理	教育出版	中学社会 地理 地域にまなぶ	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	日本文教出版	中学社会 地理的分野
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれている。 世界の州別学習のはじめの写真が大きく生徒の興味関心を高めるのに有効である。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれ、よく工夫されている。 領土問題など、現代の課題に 대응しており学習目標が明確である。 3分野を見通した構成となっており、他分野との関連も掲載している。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれ、工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれ、工夫されている。 各気候帯の分布図において、各気候の区別が示されており、より理解しやすいように工夫されている。 	
取人扱権の	<ul style="list-style-type: none"> 平和・人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ウクライナ問題など平和・人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 人権について教材や参考資料が豊富に紹介されている。特にグローバル化する社会の中で、多文化共生について考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平和・人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 北海道地方の章末に、アイヌ民族に関する内容が具体的に扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 平和・人権尊重を考慮した内容が適切に取り扱われている。 オセアニア州の章末に、マオリに関する内容が具体的に扱われている。 アイヌ民族について具体的に扱われている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられていて、配慮されている。 基礎的な学習内容が適切に扱われており生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 単元ごとに「学習課題」が設定され、単元のめあてとして明記されている。 まとめの活動では、地名の穴埋めによりまとめが完成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられていて、配慮されている。 基礎的な学習内容が適切に扱われており生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 単元ごとに「学習課題」が設定され、単元のめあてとして明記されている。 世界各地のページで重要な項目の図が大きく採用されているため、理解しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられており、重要語句には必ずふられている。 基礎的な学習内容が適切に扱われており生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 単元ごとに「学習課題」が設定され、単元のめあてとして明記されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ルビが多く用いられており、重要語句には必ずふられている。 基礎的な学習内容が適切に扱われており生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 単元ごとに「学習課題」が設定され、単元のめあてとして明記されている。 世界の州、日本の地方ごとに、人口分布がひと目で分かるような地図が掲載されている 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 地勢図にイラストが載っており、調べ学習に活用しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 地勢図が非常に大きく、世界を州別に大観できる。また、まとめでは始めと同じ地勢図が用いられ理解しやすい。 関連ページが右下に書かれていて、予復習がしやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 州や地方の導入で、見開き2ページを使って、関連する写真が多数掲載されており、生徒の興味関心を引き出す構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各領域とも偏りなく発達段階を考慮して組織・配列がされている。 州や地方の導入で、見開き2ページを使って、関連する写真が多数掲載されており、生徒の興味関心を引き出す構成になっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 巻末資料写真では、地図と写真、説明の量が適切で、学習活動に活用しやすい。 調べ学習の手引きが分かりやすい。 単元ごとに二次元コードがあり、動画や資料などのコンテンツをタブレット端末で見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近な写真が多く使用されている。 字の大きさと図、写真のバランスが良い。 SDGsへ向けて、これからの子どもたちが地球的課題にたって、物事をとらえられるような構成でつくられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれ、工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べるように、豊富な資料が盛り込まれ、工夫されている。 各気候帯の分布図において、各気候の区別が示されており、より理解しやすいように工夫されている。 	
補充的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> スキルアップで資料活用の技能が身に付けられるように工夫されている。 もっと知りたいで補充的・発展的に学習ができるように、各単元の内容を掘り下げて取り上げている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめで表現が観点別になっており、観点に応じて活用できる。 地理の窓を活用することで、発展的な学習ができる。 確認・表現で単元ごとにふりかえることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 特設ページやコラムが多く、学習の幅を広げやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 「地理+α」により内容をさらに深められるようになっている。 	

地図

教科用図書選定資料

発行者名	書名	発行者名	書名
東京書籍	新編 新しい社会 地図	帝国書院	中学校社会科地図
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持って理解できるように新しい資料が積極的に取り入れられている。 基本方針と学習内容に沿ったテーマ別資料に分けられ、よく内容が精選されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持って理解できるように新しい資料が積極的に取り入れられている。 より立体的な地図が描かれ、地図を見る目を十分に養える内容になっている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 環境と人々のくらしを密接につなぎながらその共有をめざした資料が取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 宗教や人々のくらしに関してそれぞれの立場を尊重した資料が取り扱われている。 環境と人々のくらしを密接につなぎながらその共有をめざした資料が取り扱われている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な地図はすべて含まれており生徒の発達段階に応じた適切な地図になっている。 地図の至る所に観光地となる絵が載っていて、発達段階に考慮したつくりになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な地図はすべて含まれており生徒の発達段階に応じた適切な地図になっている。 現在の日本で話題になっている場所を新たに加えている。 細かい資料図が非常に多い。 大阪の情報が非常に多く掲載されている。 地図にイラストが入っていて、色も濃く、視覚的にとらえやすい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容の習得に必要な地図、資料が組織配列されており、興味関心を高める効果がみられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容の習得に必要な地図、資料が組織配列されており、興味関心を高める効果がみられる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 色が薄いために、目に優しく、生徒が疲れにくい。 地図の各所では、「Bee's eye」からの問いに生徒が取り組める構成になっている 		<ul style="list-style-type: none"> 地図の至る所に遺跡や特産物などの絵が載っていて、生徒の興味関心をひきつけるしかけとなっている 五街道の記載が分かりやすい。 大阪の地図が具体的である。 	
<ul style="list-style-type: none"> 歴史にリンクした資料があり歴史的分野でも利用できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 「地図で発見」では、その地図に応じた課題が設定されていて、さらに地図帳を読み込めるような工夫がされている。 歴史にリンクした資料があり歴史的分野でも利用できる。 	

歴史

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい社会 歴史	教育出版	中学社会 歴史 未来をひらく	帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	山川出版社	改訂版中学歴史 日本と世界	日本文教出版	中学社会 歴史的分野
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
の取扱い 目標・内	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。 ページ端に年代スケールが書かれていて、時代の流れを捉えやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。 ページ端に年代スケールが書かれていて、時代の流れを捉えやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。 ページ端に年代スケールが書かれていて、時代の流れを捉えやすい。 	
取扱いの	<ul style="list-style-type: none"> 部落問題について、室町・江戸・明治・大正の各時代でふれられている他、河原者、渋染一揆、解放令から水平社について記述されている。 アイヌ文化について、詳しい記述がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題について、室町・江戸・明治・大正の各時代でふれられている他、歴史の窓で河原者の記述や渋染一揆、水平社宣言について考えさせる項目がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題について記載がある。未来に向けてのコーナーで河原者、えた・ひにん、渋染一揆、解放令、水平社の結成の他、在日韓国・朝鮮人、男女共同参画など、人権・多文化について詳しく記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 女性の社会進出について特集ページで説明している。 アイヌと琉球文化について深く掘り下げている。 		<ul style="list-style-type: none"> SDGsに関連づけてコラムを設けている。 部落問題について、室町・江戸・明治・大正の各時代でふれられている他、河原者、えた・ひにん、渋染一揆、四民平等の内容、水平社宣言の起草者の西光万吉、水平社の創立と人権運動について様々なコーナーで記述されている。 アイヌ文化や在日朝鮮人問題について記述がある。 	
発達段階への	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句に対してルビがふられている。 どのページも本文の内容を深める資料が多くなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 重要語句に対してルビがふられている。 見開きのタイトルは生徒が興味を持つように工夫されている 		<ul style="list-style-type: none"> 重要語句に対してルビがふられている。 どのページも本文の内容を深める資料が多くなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 重要語句に対してルビが丁寧にふられており、学習の苦手な生徒にも配慮されている。 内容量が豊富でとても詳しい。 難しい用語の解説がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 重要語句に対してルビが丁寧にふられており、学習の苦手な生徒にも配慮されている。 どのページも本文の内容を深める資料が多くなっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題が設定され、チェック&トライで学習の課題にせまる振り返りができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習課題と確認表現を通して学習の課題にせまることができる。 節の終わりで節をとらえるまとめが設定されていることで各節ごとにまとめることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 章のスタートで学習する見通しを立てさせ、節の問いが示され、章の終わりに振り返りができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 章のまとめがあり、振り返りができるようになっている 		<ul style="list-style-type: none"> 見開き4ページを使い、単元の学習課題、見通しが立てられ、単元末に課題に対する振り返りができるようになっている。 各項目に学習課題が設定され、それに対する見方・考え方を設定することで考え方がわかるようになっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 章末の振り返りが観点別に振り返られるように工夫されている。 みんなでチャレンジのコーナーで、対話的な活動を行えるよう工夫されている。 毎時間二次元コードにより資料等の閲覧が可能になっており、資料活用を高めやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 巻末の年表が一目で全範囲を見られるように工夫されている。 身近な地域の歴史を調べようでは地域の特性に合わせて学習ができるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> タイムトラベルや世界とのつながりを考えようのコーナーで見開きのイラストがあり、図を通して生活を考える工夫がされている。 図、写真、資料が多くあり、イメージしやすくなっている。 章の振り返りが書き込み式になっており、充実している。 小学校の学習や地理公民とのつながりを示しているため、学習のつながりを持たせやす工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 見開き2ページの世界地図で、世界で起こっている内容を整理できるようにしている。 歴史へのアプローチではテーマの内容についてより深く考察できるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 見開きで小年表が掲載されており、時代把握がしやすくなっている。 小学校の学習や地理公民とのつながりを示しているため、学習のつながりを持たせやす工夫されている。 教科横断的に学ぶときに、人権学習とのつながりが深く、学習がしやすい構成になっている。 毎時間二次元コードにより資料等の閲覧が可能になっており、資料活用を高めやすくなっている。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 学びを深める「もっと知りたい」のコーナーが設けられ、発展的な学習に繋がられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の窓のコーナーでは、学習した内容により深める工夫がされている 歴史の技のコーナーで発展的な学習につなげられる工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> アクティブ歴史のコーナーを使い、学習したことを元に複数の資料から多角的、多面的に考え自分の意見を考える学習に繋がられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域からのアプローチ、歴史を考えようのコーナーで多くの資料があり、学習を深められる。 		<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ歴史のページには複数の資料が掲載され、学習したことを元に発展的な学習に繋がられる。 スキルアップのコーナーで情報活用能力の育成に役立つように工夫されている。 現代的な諸課題を多く取り扱っており、多面的・多角的に学ぶことができるようになっている。 	

歴史

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	自由社	中学社会 新しい歴史教科書	育鵬社	新しい日本の歴史	学び舎	ともに学ぶ 人間の歴史 中学社会 歴史的分野	令和書籍	国史教科書
項目	所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている ページ端に年代スケールが書かれていて、時代の流れを捉えやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている 	
取人権扱いの	<ul style="list-style-type: none"> 平和学習を取り扱う内容がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 部落問題について、河原者、水平社宣言の起草者の西光万吉についての記述がある。 女性解放運動についての詳しい記述がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 女性問題を取り扱う内容がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 琉球文化とアイヌ文化の記述がある。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句に対してルビがふられている。 写真や図が豊富にある。 		<ul style="list-style-type: none"> どのページにも地図があり、本文の内容を深めることにつなげられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味をひくようなタイトルがつけられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 重要語句に対してルビがふられている。 内容量が豊富でとても詳しい 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 前章のまとめと次章の予告編が歴史的なながれをつかみやすいように、見開きで記されている 		<ul style="list-style-type: none"> 資料や図表、写真の配置が見やすくレイアウトされている 		<ul style="list-style-type: none"> 章の振り返りができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題が明記されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 歴史年表一覧が準備されている。 チャレンジのコーナーで思考力や表現力をつけられるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 章のはじめに時代を象徴する資料を大きく取り上げることで学習意欲をもてる工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史年表が一覧として準備されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 図や系統図が大きく掲載されていて見やすい。 コラムではさらに深い内容について学べるよう工夫されています。 	
補充的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> もっと知りたいというコラムがあり、学習内容を深められる。 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史ズームインのページでは、学習した内容をより深める工夫がされている 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史を体験するコーナーで深めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 考えようというコーナーで本文の学習内容を深めることができる。 	

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい社会 公民	教育出版	中学社会 公民 ともに生きる	帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	日本文教出版	中学社会 公民的分野	自由社	新しいみんなの公民	育鵬社	新しいみんなの公民
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標内容の取扱い	・学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。		・学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。		・学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。		・学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。		・学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。		・学習指導要領を踏まえ、適切な内容となっている。	
取人権扱いの	・アイヌ文化についてくわしく記載しており、内容が豊富である。 ・在日韓国人・朝鮮人問題・男女共生・バリアフリーについて記載されている。		・SDGsの項目と学習内容がリンクしており、わかりやすい。 ・LGBTについて詳しく記載されている。 ・ヘイトスピーチの内容にもふれている。		・SDGsの項目と学習内容がリンクしており、わかりやすい。 ・LGBTQ+の内容や同性婚などの内容について詳しく記載されている。 ・アイヌ文化について詳しく記載されている。		・バリアフリーについて考える見開きがあり、点字加工を施し、点字に触れて感じる活動ができるよう工夫されている。 ・部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人への差別、男女共同参画社会など、内容が豊富である。 ・平和主義の内容を見開き4ページを使って、丁寧に記載している。		・部落問題差別やヘイトスピーチ、外国人参政権に関して、詳しく記載されている。		・学習を深めるために、在日外国人、部落差別、アイヌ文化、ハンセン病を取り上げ、共生するために考えるページがある ・学習を深めるために世界の人権問題のページがある。	
発達段階への考慮	・本文は適量である。 ・図やイラスト、フローチャートがたくさんあり、理解に役立つよう工夫されている。		・本文は適量である。		・ルビの量は適切。 ・学習の流れが理解しやすく、毎授業で確認と説明の2段階にわかれて、学習の理解度を把握する工夫がされている。		・ルビが丁寧につけられている。とりわけ、重要語句へのルビが適切に用いられ、漢字の苦手な生徒向けに配慮されている。		・本文の量は適切である。		・情報量が豊富である。	
組織配列	・課題をつかむ、追究する解決するという流れができており、学習に見通しを立てやすくなっている。		・導入資料がわかりやすく、学習課題が明確で、確認と表現で理解の定着を確認できるようになっている。		・単元の見通しをたて、単元終了後に詳しく振り返りができるようになっている。 ・学習課題が明確で、学びを深めるコラムを利用しながら、学習内容を理解できるようになっている。		・章のはじめに大きなイラストを用いており、学習のイメージを持ちやすく、見通しや問いが立てられ、章末に振り返りができるようになっている。 ・学習課題が明確で学習理解につながるポイントが明記されていることで、授業後の確認や表現がしやすく工夫されている。		・図や写真が大きく掲載されており、見やすい。		・図や写真が大きく掲載されており、見やすい。	
学び方の工夫	・章の始めに導入の活動というページを設け、章の学習に興味をもてるように工夫されている。		・章末の振り返りで、シンキングツールを使用して考えを深められる工夫がされている。		・学習の前にというコーナーで、見開きのイラストを用いて、学習の見通しを立てられる工夫がされている。		・明日におかっというページで SDGsに関連させながら、今後の社会参画を意識させる工夫がされている。		・どのページにも、「ここがポイント」というコラムがあり、おさえるポイントがわかりやすい。		・章のはじめにどうしてその分野を学ぶのか、丁寧に記載されている。	
補足的な学習・発展的な学習	・もっと知りたいコーナーで、深く学ぶことができる。		・公民の技のコラムが豊富で、学習を深められる工夫がされている。		・アクティブ公民のコーナーで、発展的な学習につながる工夫がされている。		・チャレンジ公民というページで、現代の課題をわかりやすく提示し、議論をすることができ、考えを深められる題材が豊富に用意されている。		・学習を深めるためのミニ知識のコーナーが、豊富にある。		・やってみようというコーナーで、社会進出したときのディベートやシミュレーションができるようになっている。	

数学

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい数学	大日本図書	数学の世界	学校図書	中学校数学	教育出版	中学数学	啓林館	未来へひろがる数学
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・内容の理解を確実にしてから、そのほかの問題に取り組むためのスモールステップの構成である。 ・「クイックチェック」や「基本の問題」では、繰り返し練習に取り組む機会を設け、基礎的・基本的な知識・技能が確実に取得できるように工夫している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・学習内容に関連させながら、身のまわりにある数学に目を向けられるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・巻末のページでは、表現力やコミュニケーション能力が高められるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・補充問題を巻末に用意し、家庭学習としても利用できるようなになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・「数学広場」では、生徒の習熟度や興味・関心に応じて学ぶことができるように、様々な工夫がなされている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がされている。 ・読みやすい位置での改行や内容ごとのまとまりを区別しやすくするなどユニバーサルデザインを実現するとともに、多様な生徒の特性に対応できるデジタル教科書を発行している。 ・活動場面で、キャラクターの役割別の男女比率に偏りがないように考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がされている。 ・教科書に登場する生徒は、男女の偏りなく掲載し、多様な髪型にするなどインクルーシブ教育に配慮している。 ・読みやすい位置での改行や内容ごとのまとまりを区別しやすくするなど、レイアウトの工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がされている。 ・インクルーシブ教育に配慮し、文節での改行やカラーバリアフリーの配慮などすべての生徒が読みやすく理解しやすい教科書にするための工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がされている。 ・認識しやすい配色にするなど、学習の理解に支障がないように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がされている。 ・誰もが紙面の内容を判別しやすいような配色になっている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に考慮された内容である。 ・つまづきの手立てや補充問題だけでなく、難易度に応じたマークを用い、個に応じたきめ細やかな指導及び生徒が自己調整しながら学習が行えるよう、考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に考慮された内容である。 ・補充問題やより発展的な学習内容が設けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に考慮された内容である。 ・生徒どうしが対話を通して解決への見通しが立てられるよう、考慮されている。 ・「章のまとめの問題」では、基本、応用、発展の3つに分け、生徒の実態に合わせた指導ができるよう考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に考慮された内容である。 ・導入で実生活や日常生活、先端テクノロジーなどの数学に関わる話題を取り上げ、数学の有用性や自己の成長を感じられるよう考慮されている。 ・例、たしかめ、問といった、基礎・基本をスモールステップで習得できるよう考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に考慮された内容である。 ・具体的な例が豊富で、具体的・基礎的な内容から抽象的・発展的な内容へつながる展開となっている。 ・本文中の間に「補充問題」がQRコンテンツで用意し同じレベルの問題にさらに取り組めるように工夫されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・学習内容の系統性を重視し、既習事項がより深まるようなスパイラル的な学習、円滑な指導が行えるような工夫がされている。 ・「単元を貫く題材」が多く用いられており、章の学習後の「数学の目で振り返ろう」では、学習のなかで働かせた見方・考え方をふりかえり、これまで、これからの学習内容を見方・考え方でつなげる工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・導入課題「考えよう」、コラム「社会にリンク」「MATHEMATICS」など、数学の興味・関心を高める工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・導入問題では、生徒の身近な場面から自ら疑問を発見し、問題解決につながるよう考慮されている。 ・小学校で学習した内容を1年の各領域で確認できるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・学習過程で生じる疑問から、学習内容へ、新たな疑問につながる構成になっており、「問い」を通して主体的対話的な深い学びへと繋げている。 ・1年の章では「算数から数学へ」が設けられ、具体的な例をもとに算数から数学へつながるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・相互の関連を考慮して、学習が自然に進められるよう配列されている。 ・データの活用領域では、データの整理だけでなく、整理されたデータから読み取れる内容を考え、問題解決まで取り組む内容になっており、更に解決過程や結果から新たなPPDACサイクルへと繋げる工夫がされている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが教科書に頻繁に設けられており、粘り強く問題に取り組めるようになっている。 ・章の導入部分では、生徒の生活経験に即した身近な題材が多く取り上げられており、関心を持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ・巻末の問題では、生徒が自ら進んで取り組む課題学習や練習問題が豊富に用意されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各章の「活動」では、これまでの学習を生かして予想したり、調べたりして新たな概念や方法を見いだせるようになっている。また、考えを比べたり、話し合ったりする場面を積極的に取り入れ、対話的に学習できるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「確かめよう」「章のまとめの問題」では、二次元コードで解答を示している。 ・「確かめよう」では、問題ごとに参照ページ・箇所を示し、振り返りがしやすいようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・章の問題の「力をのばそう」と「学んだことを活用しよう」には「まなびリンク」でサポート(解決の手立て)を用意している。生徒の理解度に応じて柔軟に扱えるような工夫がみられる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の右側に、補充のページや既習内容を確認できるように工夫されている。 ・「学習のとびら」(導入課題)を設け、数学が生活や社会で有用に働いていることを実感させることで、学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 	
補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「学びのベース」「補充の問題」「数学の自由研究」を用意し、個に応じて補充的、発展的な学習ができるようになっている。 ・本文の「問」に対応したQRコンテンツ「フラッシュカード」を用意し、個に応じて補充問題に取り組めるようにしている。 ・QRコンテンツから生徒が主体的に補充的発展的な問題に取り組めるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・章末には「力をのばそう」、巻末には「小学校算数の振り返り(1年)」「補充問題」「総合問題」などを設け生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組むことで学力の向上を図れるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」領域において、「計算力を高めよう」を設定し、生徒の実態に応じて計算技能の習熟を図ることができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の広場」で、社会の中の数学や他教科の中での数学、数学の歴史など、生活の中で数学的な見方や考え方が育成されるように考慮されている。 ・中高連携を意識し、高等学校の学習内容に触れることができるような部分も用意されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・じっくり考えて解決する問題を、章末問題「学びを身につけよう」や数学広場の「力をつけよう」で取り上げ、思考力を育むことができるようになっている。 	

数学

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
		数研出版	これからの数学	日本文教出版
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・新しい学習内容をただ掲示するのではなく、既習事項をもとに考えるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の目標達成に必要な十分な内容が盛り込まれており、適切である。 ・既習事項を復習する機会を設けることで、つまづきを未然に防ぎ、これまで学んだことを次の学習に生かせるように工夫されている。 	
取人権の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がされている。 ・全体的にカラーユニバーサルデザインに配慮され、鮮明で見やすく、誰にとっても見分けやすい色になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で適切な表現がされている。 ・協働の場面では、性別や人種に関係なく、みんなで協力している姿が表現されている。 ・読みやすい位置での改行や、紙面にユニバーサルデザインの使用など、レイアウトの工夫がされている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に考慮された内容である。 ・章の学習の前に、関連する既習事項を振り返る内容が設けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に考慮された内容である。 ・既習事項の理解と定着に不安がある生徒のために各章の直前に、「次の章を学ぶ前に」が設けられており、学年間の相互の関連や生徒の発達の段階に考慮した構成になっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・グラフをかいたり、作図を行うなど、実際に教科書にかき込む可能性のあるものは、紙面の外側にくるように配置されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階や目標に応じた組織・配列となっており適切である。 ・1時間の授業で扱う内容を小節として構成されており、学習内容の区切りが明確で、学習の焦点化を図りやすくなっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学びとSDGsとのつながりを示し、数学を学ぶことの意義を感じられるようになっている。 ・ガイドキャラクターが学習の流れをつなげたり、注意喚起や学習を深める投げかけをしたりと、学習のポイントが示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・動画や練習問題などが教科書QRコンテンツとして用意されている。 ・効果的な学習を実現するデジタル教材があり、ICT環境を利用した効果的な学習ができるように考慮されている。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのサイクルとICTを活用して、まとめ・振り返りでは個別最適な学びで理解を深める工夫がされている。 ・「学習のまとめ」の解答データを活用することで、自学自習に対応できるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「補充問題」「活用の問題」では、生徒の興味・関心を高められるような話題や、数学の見方・考え方をさらに広げるための課題が示されている。 ・章末問題では、記述式や図表の読み取りなど、数学的な表現力・読解力、数学的な表現を用いて説明する力の育成に充実した内容である。 	

理科

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい科学	大日本図書	理科の世界	学校図書	中学校科学	教育出版	自然の探究 中学校理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> すべての節の導入に、主体的に学習することができる「レッツスタート」を設けている。 「つながる科学」や「世界につながる科学」など学習内容と日常生活につながる資料が使用されている。 実験結果の考察では、ステップを細かくし、生徒が段階を踏んで考えることができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 理科の目標達成に適切な内容が盛り込まれている。 各章に「主体的・対話的で深い学び」が実現できる観察・実験が設定されている。 単元の終わりには、身についた知識を確認できる「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」が盛り込まれている。 各学年の巻頭ページには、理科に関連した職業の写真など、キャリア教育の資料が使用されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 探究の組み立て方がわかる『理路整然』というページがあり、「主体的・対話的に深い学び」につながるヒントが盛り込まれている。 全国学力・学習状況調査への対策や高校過去問から思考を深める問題が盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 理科の目標達成に適切な内容が盛り込まれている。 各節ごとに、明確に結論がまとめている。 観察・実験の手順が分かりやすく、内容も充実している。 単元のまとめに「要点と重要用語の整理」「基本問題」「学年末総合問題」が盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 理科の目標達成に適切な内容がバランスよくかつ十分盛り込まれており、本文で1つ1つ丁寧に説明されている。 単元の各章のはじめに「はてなスイッチ」、最後に「ふりかえりシート」を二次元コードで読みとることができ、章で学習をすすめる「探求の過程」がある。 各単元に「主体的・対話的で深い学び」につながる理科的な問題設定や実験などの学習が数多く設定されている。 学習内容に関連したキャリア教育・環境教育の資料が使用されている。 	
取人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 色覚特性への対応として、カラーユニバーサルデザインを使用し、また色だけではなく、線種を変えている。 学習者用デジタル教科書で、総ルビやGoogle翻訳(133言語)などが利用可能になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストや写真で登場してくる男女の人数はほぼ均等である。 フォントやカラーでユニバーサルデザインを用いて、すべての人が見やすい工夫がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 色覚特性への対応として、カラーユニバーサルデザインを使用している。 紙面デザインをひかえめにし、重要な内容を簡条書きにするなど、すべての人が見やすい工夫がある。 各ページの二次元コードを読み取ると、6か国語に変更することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 自然災害に関する資料が充実している。 各学年で文字の大きさを変化させている。 初出の漢字にはふりがなをつけている。 フォント・カラーにユニバーサルデザインを使用している。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストや写真で登場する人は、外国につながるのある生徒やめがねをかけた生徒、ズボンをはいた女子生徒など、多様なキャラクターを掲載し多様性を認める紙面になっている。 色覚特性などを含めた、すべての人が見やすく読みやすいデザイン・フォント・レイアウトである。 「持続可能な開発目標(SDGs)」など環境問題について随所で掲載し、世界的な課題に目を向けられるようにしている。 	
発達段階の考慮	<ul style="list-style-type: none"> 指導要領の「目標」「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項すべてについて不足なく取り上げられている。 つまづきやすい内容では、「例題」や「考え方」が示されたり、記述がより丁寧に示されたりして、配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「まとめ」では、学習した重要語句の確認ができる。また、自学自習ができるよう章末問題が設けられている。 地域的な取り組みだけでなく、SDGsなど、国際的な取り組みについても触れられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の最初に「ふり返ろう・つなげよう」という問いのページがあり、既習事項との関連が図る事ができる。 記述が簡潔で、厳選されており、何が重要な概念なのか一目で分かりやすいため、生徒が自学自習しやすい。 「Can Do List」があり、目標設定がわかりやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業で、「疑問」→「課題」→「結論」の流れで構成されているので、生徒にとっても分かりやすい。 写真を多用して、分かりやすく、興味を引きつける内容である。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元導入や章導入で、生徒の興味を高めるビジュアル的なこだわった写真・資料が示されており、「学ぶ前にトライ」で単元全体の横断的な問いがある。 観察、実験には「探究の振り返り」が設定されており、深い学びにつながるように工夫されている。 単元末の「学習のまとめ」で、重要語句が図とともに整理されており、二次元コードを読み取ると、語句を繰り返し復習できるようになっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 「発展的な学習内容」は、必修の学習内容と十分な関連が図られ、内容の程度・分量とも過度な負担にならないように配慮されている。 単元配列の特徴として、第2学年では静電気が冬に発生しやすいことから、最後の単元に電気をもってきている。また第3学年では、2年の最後の電流と電子の学習からスムーズにつながられるように、化学変化とイオンを最初に設定している。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさが他者よりも一回り小さく、コンパクトである。 単元の配列を1分野・2分野区別することなく、小学校との関連を重視し、発達段階などに配慮されて構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストを大きく配置することで、視覚的に分かりやすいつくりになっている。 各単元の内容がすべて3章に整理されており、全学年を通じて学習内容の区切りが分かりやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> どの単元においても、巻頭で示されている「探究の進め方」に基づいた共通した構成がなされており、探究的に学習を進めやすい。 教科書を見ながら実験や観察を進めやすいレイアウトになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 目次が、「本文内容」観察・実験などの「技能」「発展」「科学コラム」などに詳しく分けられており分かりやすい。 「つながるページ」(3学年で28か所)で、同一学年内の別の単元でも登場する用語が相互に参照できるようになっている。 章導入及び単元内の箇所に「つながる学び」が配置されており、既習内容を踏まえた上で、新たな学習に取り組めるように工夫されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生徒目線の疑問や課題が豊富に掲載されている。 単元末の「学習内容の整理」で用語が見やすく示されていて用語の確認を行いやすい。 実習や実験・観察の内容が豊富で、生徒の活動を行いやすい工夫がある。 大きな写真や図で視覚的に理解しやすいような工夫がある。 教科書を読むときに、視線の移動が少なく読みやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすいキャラクターのコメントをつけることで学習に取り組みややすくしている。 単元のはじめに「これまでに学習したこと」「これから学習すること」をわかりやすくのせており、学習の見通しがもちやすい。 「くらしの中の理科」は日常生活と関連した内容で科学的に考える力を育成しようとしている。 実験の基本操作がすべてタブレットをつかって、動画で見ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードでより詳しい説明などを見ることができ。また、Can Do Listで自分の理解度を確認できるようになっている。 資料が大きく、班活動などでの活用を意識して作られている。特に実験観察などのページは大きく作られている。 		<ul style="list-style-type: none"> 字がとても大きく、見やすい。 「やってみよう」のコーナーが充実しており、クラスでのグループワークに使うことができる内容が掲載されており、内容理解を深めることができる。 単元の始まりに「学習前の私」が、単元の終わりに「学習後の私」が載っており、学習したことがきちんと説明できるかどうかを確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードがより充実しており、実験での活用、ふりかえりシート、動画でチャレンジ、練習問題にいたるまで、ICTを使って学びを深めることができる。 写真や資料が非常に大きく見やすく、要点もわかりやすい配置になっている。 各単元に1つずつ「探Q実験」を設け、対話例から主体的な思考を導き出し、巻末付録の「探Qシート」を用いて、自分の考えを自由に書き込み、話し合うことで、主体的・対話的な学びを実現させ、対話による生徒の考えの変化を見ることができ、学習の助けとなっている。また、「探Qシート」がタブレットでデジタルでも読みとれ、記録を残すことができる。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に確かめと活用の問題で、基本から応用まで身につけたい力を確認できる。 「社会とつながる科学」のコーナーで発展的な内容や興味を持ちやすい疑問に対する解説が載っており、高校で学ぶ内容や社会と関連のあることがらを学ぶことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 単元末に基本的な問題と読解力問題で身につけたい力を確認できる。 「つながる」のコーナーで理科の知識や技術を使って現在行われている仕事や研究の紹介がされており、職業の選択のヒントになるような工夫がある。 「Science Press」で、より発展的な内容の説明もされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「発展」が明示され科学の歴史や日常とのつながりや他教科とのつながりなどが分かりやすくなっている。 探究の過程を活用して、SDGsや脱炭素社会の実現に取り組んでいる資料が盛り込まれている。とくにSDGsはどの項目と関連しているかわかりやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「ハローサイエンス」では発展的な内容を取り扱っており、学習をより深めることができる。 章ごとの課題では、実験や観察、図や言葉を使って説明が必要な発問が「課題」として挙げられており生徒が自分で考えるためのものになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 章末の「力だめし」の問題が充実しており、基本的な問題から「思考力UP」の問題、また新たに「動画でチャレンジ」という二次元コードを読み込んで解く問題と幅広く網羅している。 「深めるラボ」では、単元の内容理解をより深めるために、高校で扱う内容などより発展的なものが紹介されている。また、「部活ラボ」「お仕事ラボ」で生徒の興味関心をより高められるようになっている。 	

音楽

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	教育出版	音楽のおくりもの	教育芸術社	中学生の音楽
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。また、楽曲を比較して学習を深めることができる内容になっている。 自分の考えをもとに、交流しながら学習を進めることができ主体的・対話的で深い学びの実現をめざすことができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。また、音楽の要素が單元ごとに各ページの横に示され、各教材のねらいを生徒が意識して学習できるような内容になっている。 表現や鑑賞の活動が段階を追って進めやすく配慮されている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの視点にふれており、UDへの配慮がなされている。 2・3上で著作権にふれている。 各学年の巻頭ページに歌唱共通教材を歌詞とともに楽曲のゆかりの地が美しい写真で掲載されている。歌唱とともに、我が国の自然や四季、文化を尊重しようという配慮がなされている。 「君が代」のページにはオリンピック、パラリンピック、ワールドカップで活躍する選手の写真が掲載され、自国の国歌だけでなく、他国の国歌も同じように尊重することについてふれている。 		<ul style="list-style-type: none"> SDGsの視点にふれており、UDへの配慮がなされている。 2・3年下「夏の思い出」のように自然愛護にもふれている。 2・3年下「花の街」のように平和学習につなげられるうたがある。 著作権について、1年と2・3年下でふれており、内容は発達段階に応じたものになっている。 「友情」「信頼」「希望」「強い意志」などをテーマにした合唱曲が配置され、自分自身の良さや仲間の良さを認め、尊重する態度を育めるよう、配慮されている。 各学年の「君が代」のページにはオリンピック、パラリンピック、ワールドカップで活躍する選手の写真が学年ごとに掲載され、自国の国歌だけでなく、他国の国歌も同じように尊重することについてふれている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。 創作教材において、主に言葉の特徴を捉えて旋律を作ったり音楽を構成したりする内容を始めとし、段階を追って創作できるような内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 日本芸能の内容については、芸能要素の多い歌舞伎を学んでから儀式的要素も踏まえた能を学ぶ構成になっており、発達段階に応じて取り組みやすい。 小学校で既習した合唱曲を混声三部合唱として編曲していることで、親しみをもって混声合唱に無理なく移行できるように配慮されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 写真や図などの色彩が豊かで、視覚的にわかりやすいつくりになっている。 鑑賞教材のページに年表があり、歴史的な学びが視覚的にわかりやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 3年間の教科書を並べると、学習がつながり、深まる様子がわかる。1枚の絵になる表紙が興味深いものになっている。 教材ごとに「学習目標」や「活動のねらい」等が示されており、この教材を通して「何を学ぶのか」「どんな力を身につければいいのか」が生徒、教師双方に理解できるよう配慮されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱教材と鑑賞教材において、進んで話し合い学ぶために「Acvive!」のコーナーが設けられており、音楽的な見方・考え方を働かせ学習を深めていけるような工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 歌唱教材と鑑賞教材において、進んで話し合い学ぶために「学びのコンパス」のコーナーが設けられており、生徒が自分の考えを整理しながら学習を進めることができるように工夫されている。 	
補足的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 主要な教材に二次元コードがあり、風景動画の閲覧や演奏を聴くことができ、学習の際に参考にすることができるようになっている。 各教科書の巻頭に「With My Heart」として音楽家からのメッセージが掲載され、音楽と主体的に関わることができるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> すべての教材において二次元コードから風景動画の閲覧や演奏を聴くことができ、学習の際に参考にすることができるようになっている。 各教科書の巻頭に音楽に関わる著名人からのメッセージが掲載掲載され、音楽と主体的に関わることができるよう配慮されている。 中学生が普段親しんでいるポピュラー音楽についての教材があり、さまざまなジャンルが影響し合っ音楽の可能性を広げてきたことを学ぶことで、世代を越えて生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育めるよう配慮されている。 	

器楽

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	教育出版	中学器楽 音楽のおくりもの	教育芸術社	中学生の器楽
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。 「聴いてみよう」のコーナーで鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器と関連付けて学習できるよう考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。 「学びのコンパス」や「Q&A」が記載されており、器楽の学習を深めることができるよう工夫されている。 学習する楽器の初めに「～の演奏を聴こう」として鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器と関連付けて学習できるよう考慮されている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 人権を尊重する観点から選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料など適切であり、生徒が多様性を意識できるような配慮がなされている。 同じ演奏方法の楽器を比べる教材があり、背景にある文化や伝統について学べるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人権を尊重する観点から選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料など適切であり、生徒が多様性を意識できるような配慮がなされている。 冒頭の「音楽って何だろう？」で、世界各国で使用されている楽器を紹介し、多様な楽器に興味を持つことができるように配慮されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ギターのページでは、単音奏法のあとにコード弾きが配置されているので、習得しやすくなっている。 「リズム de ゴー」があり、リコーダーで楽しくタンギングの練習をすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒がよく知っている曲や短い曲が多く、意欲を高めて楽しみながら演奏できるように配慮されている。 リコーダーでは、基礎基本事項を丁寧に学んでから演奏へと発展する内容になっており、楽器を正しく理解し、段階的に学習が進められるように配置されている。また、アーティキュレーションを早い段階で学ぶことができるように工夫されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 箏の学びはじめは五線譜で曲が書かれており、他の器楽や歌唱と同じように、音の高低やリズムをつかむことができるようになっている。 器楽の奏法や構え方の写真が多く、生徒がイメージしやすいよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 箏の楽譜が五線譜とともに縦譜が記載されており、箏の伝統・文化を大切にしている。 リコーダーの運指図では、高い音が上に配置されており、音の高低の感覚をつかみやすい配慮がある。 リコーダーの姿勢と構え方については、正しい方法だけでなく間違った方法の図も示されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の種類ごとに特徴を比べながらワークシートにまとめることができるようになっている。 箏の奏法の学習を創作につなげることができるワークシートで発展的に取り組める工夫がある。 		<ul style="list-style-type: none"> リコーダーのページには、ピアノ伴奏が聴ける二次元コードがあり、曲の雰囲気を感じながら演奏することができる。 「学びのコンパス」では、自分の考えを仲間と交流できるように工夫されている。 	
補足的な学習	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの楽器ごとに「深めてみよう」という項目があり、難易度の高い奏法に挑戦し、表現を発展させることができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> アンサンブルでは、ハーモニーを感じやすい曲が多く、他者との調和や協調について学べるようになっている。 生徒が知っているポピュラー音楽の楽譜が載っており、発展的に楽しく演奏できるようになっている。 	

美術

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	開隆堂	美術	光村図書	美術	日本文教出版	美術
項目	所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 題材を通して身につけたい資質能力を3つの目標として整理し、生徒に分かりやすく示している。また、どのような力を身につけることができるのかを示した小見出しを設け、それぞれの学習にどのような意味があるのかを生徒も教師も確認しやすい工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が目標を意識しながら授業に取り組めるように各題材の目標を3観点で示し、生徒に伝わりやすい文章でまとめられている。 鑑賞と表現の交互の関連を意識し、一つの題材の中で一体的に学べる構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学びの目標を5項目に細分化できるようにわかりやすく示しておりそのまま評価の観点に繋がるよう工夫されている。 全ての題材に表現と鑑賞のマークを配置し、相互の関連を図った授業展開ができるように配慮されている。 	
取入権の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 福祉と美術の関わりを学ぶページが設定されており、インクルーシブ教育に対応できるように配慮されている。 カラーユニバーサルデザインの観点から、専門家の校閲を得て、色覚特性の有無にかかわらず、すべての生徒が支障なく学習できるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止についてなど、人権について考えさせる作例を幅広く掲載している。 多様性に配慮して、様々な国や地域の作家の作品や障がいのある人が制作した作品、多様性をテーマにした生徒作品などを掲載している。 		<ul style="list-style-type: none"> 日本色彩研究所監修の色彩資料を用いており、色覚特性を持つ人も認識しやすいようカラーユニバーサルデザインの観点で配慮されている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 「美術1」の巻頭で「図工から美術へ」を配置し、発展的な学習へ導けるよう工夫されている。 表紙の特殊加工により、触覚で作品の質感を想像できるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を踏まえた2分冊構成になっており、「美術1」では別冊資料が分冊され、発展的な学びにつながるよう考慮されている。 生徒作品の「作者の言葉」「インタビュー動画」により、表現と鑑賞学習が一体化できるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階を考慮した3分冊構成で、学びの深化につながるよう考慮されている。 生徒作品に「作者の言葉」が併記されており、発想や構想のヒントとして活用できるように工夫されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容が適切に取り扱われており、主体的に学習できるよう考慮されている。 各題材が基本4ページで構成されており、導入から振り返りまで授業展開を意識した構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が偏りなく組織・配列されており「主体的・対話的で深い学び」ができるように考慮されている。 「美術2・3」では日本美術について16ページにわたって5つのキーワードで、より興味深く学べるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容が各領域とも偏りなく組織・配列されている。 表紙写真と巻頭文によって「主体的・対話的で深い学び」ができるように考慮されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「美術2・3」P22～25「墨から生まれる」（水墨画）P34～37「写して見つけて」（版画）は、作品と技法が見開きで掲載されており、制作過程がイメージできる。また、西洋の版画と日本の浮世絵版画が見比べられるように配置されており、版画の種類も記載され見やすい構成である。 「美術1」P39など、日本の伝統文様がラグビーの日本代表のユニホームにも使われていることがわかりやすく記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「美術2・3」P26「岡本太郎」について、異分野の作品（立体と壁画）を取り上げて、それぞれの魅力が感じられる動画解説になっている。また、完成されるまでの過程を示し、作者と作品に興味をもつきっかけになる内容である。 「美術2・3」P45「印象派」について、印象派の画家たちへの批評のコメントに対して、なぜそう感じたのかがわかるようにルネサンス時代の作品と比較して解説されている。時代背景や印象派誕生のきっかけになった出来事も説明されており、そのことにより美術作品への見方が学べるように考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「美術2・3上」では、UD関連の作品が多く紹介されており、身近な生活の中での美術から社会の中にある美術に目を向けられる構成がされている。また太陽の塔や舞洲の清掃工場が掲載されていることで自分の住んでいる地域（大阪）に関心をもちやすい。 「美術2・3下」では、所ジョージ氏の紹介がされており、「人生を楽しむ」ことが上手な人の考え方やアドバイスは、他者の評価を気にする思春期の子にとって、自分がどうあるべきかを見つめ直す機会になるインタビュー動画で、キャリア学習にも活用できる。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 「美術1」P57の「著作権を知ろう」は、漫画・映像等のメディアをはじめ、インターネットを使うことが日常的になった現在の生活に必要な内容がわかりやすく記載されている。情報モラルに関する指導もしやすい構成である。 人気漫画家・荒木飛呂彦氏の作品が掲載されており、過去の美術作品が漫画作品にどのような影響を与えているのかを知ることで美術に関する興味関心を高める工夫がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 別冊になっている「資料：つくってみよう、見てみよう」では、様々な画材や技法についての説明や二次元コードからの動画説明が多数掲載されているので活用しやすい内容である。 「色光と色料」は実際に色の画像を動かし重ねることができる。 「美術1資料」P24「発想・構想のために」ではシンキングソールの使用例が記載されており、アイデアや課題を視覚化し、考えや情報を整理できるので、探究的な学習に活用できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 「美術1」の「学習を支える資料」では基本的な内容と合わせて生活の中で取り入れられている美術に関する内容が充実している。 	

保健体育

教科用図書選定資料（案）

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい保健体育	大日本図書	中学校保健体育	大修館書店	最新中学校保健体育	学研	中学保健体育
項目	所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題にキーワードをあげ、学習内容を示唆している。 章末資料『キーワードの解説』が設けられていて、学習内容の発展解説がより丁寧に説明されている。 巻末資料のボリュームがあり、多くの情報が示されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 章の扉は必要なことのみが記載されており、コンパクトにまとめられていて、分かりやすいものとなっている。 写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味、関心を引き出させるように、導入発問が設けられており、内容構成が工夫されている。 章の扉が2ページにわたっており、カラー写真の使用も多く分かりやすい構成となっている。 章のまとめが観点別に問題形式になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「ひと・もの・こと」が各章の初めに記載されており、興味関心を引き出せるような内容構成となっている。 章の扉に学んでみたいことを表現するスペースが設けられており、導入への工夫がされている。 章のまとめが、チェック形式で答えるものとなっており、簡潔でわかりやすい構成となっている。 	
取入権いの	<ul style="list-style-type: none"> 1ページを使い、性の多様性を取り扱っており性について多角的な視点で学べるように配慮されている。 発展的な内容で、心のケアについての掲載があり、多方面に配慮されている。 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> 個性や能力を大切にするという視点で構成されており、性の多様性については、デジタルコンテンツで取り上げられている。 読みやすい、見やすい紙面となるように、読みやすい位置での改行がされていることと、UDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色が工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 見開き1ページを使い、性の多様についてや、性的マイノリティについて多角的な視点で取り上げられ、正しい知識を身に付け、生徒がより深く考えられる内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 体育編では、パラスポーツや、アダプテッドスポーツが多く取り上げられおり、写真も分かりやすく掲載されている。 LGBTQや、SOGIについて適切に掲載され、性の多様性について掲載されている。 保健体育の学び全体を通して、ウェルビーイングの実現に近づけるように構成されています。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 「活用する」では、学習したないようを活用して、グループで意見を交流する活動が設定されており、言語活動を充実させるように工夫されている。 グラフや写真も大きく、またバランスよく色分けされ見やすく考慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元にある「やってみよう・話し合ってみよう」は授業の導入や、まとめとして内容を深く理解するのに役立つよう工夫されている。 各単元で、見開きの左側に文章を、右側に資料という形で構成されており、誰もが見やすいレイアウトになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> コラムなどで、スマートフォンやSNSと関連付けた内容が多く掲載され、年齢に応じた課題の設定となっている。 すべての学習項目は1見開き1単位時間の構成を徹底し、時間の見通しをもって指導できる分量になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 読みやすさに優れたUDフォントで構成されおり、行間も広く視覚的に配慮されている。 ユニバーサルデザインの考えに基づいて配色や色、フォント、紙色、表現など、誰もが見やすく、わかりやすくなるように配慮されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 『章の扉』で道徳科の各内容項目との関連を示し、関連が図りやすいように配慮している。 学年ごとに前に保健編、後ろに体育編が配列されている。また関連した内容を学習するページや他教科とのつながりをマークで示している。 		<ul style="list-style-type: none"> 左ページに本文、右ページに参考資料が記載されており、内容・知識が深まりやすいレイアウトとなっている。 見開き2ページを1単位時間で学習することを基本とし、本文や写真、挿絵、図、表などが効果的に配置されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 本文を見開きページ中央に寄せられており、両端に資料として、写真や図が多く配置されている。 小学校や高校との関連について、単元の初めに記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう、組織・配列されている。 表やグラフが多く、資料の掲載については、本文に近い場所で、見つけやすい位置にレイアウトになっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の使い方や学習方法がわかりやすく記載されている。 これまでの経験や学習をもとに「見つける」で学習課題をつかみ「学習課題」で本時の課題を確認する。さらに「課題の解決」「?マーク」「活用する」「広げる」という学習過程の中で生徒自身が自分のこととして課題を合理的に解決する学習活動が行えるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各内容に「トピックス」が記載されており、興味が湧き、スムーズな学習が進むように構成されている。 学習活動の流れの中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実が図られるよう工夫されている。また、動画やWebサイトなどのデジタルコンテンツを活用することで、生徒自らの興味・関心に応じた学びができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の流れの中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実が図られるよう工夫されている。 二次元コードにまとめやクイズが取り入れられており、興味を持てるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験や学習をもとに「ウォームアップ」で本時の学習課題を見つけ、「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ」「学びを生かす」という学習過程の中で、生徒自身が自分のこととして、課題を合理的に解決する学習活動が行えるよう工夫されている。 「学びを生かす」では、学習した内容を活用して、グループで意見を交流する活動が設定されており、言語活動を充実させるよう工夫されている。 	
発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに「キーワード」としてポイントとなる重要な言葉が示されている。章末の「学習のまとめ」には、重要な言葉の解説や章末問題が二次元コードのコンテンツとして設けられ学習を振り返ることができるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発展的な学習について、章末資料では「学びを活かそう」でわかりやすく学習内容を深めることができるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 発展的な学習について、各章のまとめに観点別にわかりやすく振り分けられており、「学習のまとめ」がとてもわかりやすく、実生活や実社会で活用できるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「エクササイズ」や「探求」のページで学習したことから次の課題をみつけて学習に取り組めるようにしている。 どの単元においても発展的な学習内容が掲載されており、より深く学習できるように配慮されている。 	

技術

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい技術・家庭技術分野	教育図書	新技術・家庭技術分野	開隆堂	技術・家庭技術分野
項目	所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・技術に関する原理や原則、基本的な技術を学べるよう、適切な内容が取り上げられている。 ・各内容の最後や、巻末「技術分野の学習を終えて」では、学習を振り返り、生活に生かしたいことや新たな課題を見出すことで、よりよい生活や持続可能な社会の構築について考え、技術を適切に評価し活用しようとする力を身につけることができるように取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・技術に関する原理や原則、基本的な技術を学べるよう、適切な内容が取り上げられている。 ・各内容の最後や、巻末「未来の社会を創造しよう！」では、技術の役割や活用についてまとめることで、よりよい生活や持続可能な社会の構築について考え、技術を適切に評価し活用しようとする力を身につけることができるように取り扱われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・技術に関する原理や原則、基本的な技術を学べるよう、適切な内容が取り上げられている。 ・各内容の最後や、巻末「技術分野の学習をふり返り私たちの未来へつなげよう」では、学習を振り返ることで、よりよい生活や持続可能な社会の構築について考え、技術を適切に評価し活用しようとする力を身につけることができるように取り扱われている。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の観点で、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取り扱われている。 ・すべての生徒に使いやすく、分かりやすいよう文字・配色等が配慮されている。 ・情報モラルについて、5 ページにわたり取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の観点で、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取り扱われている。 ・すべての生徒に使いやすく、分かりやすいよう文字・配色等が配慮されている。 ・情報モラルについて、1 ページで取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の観点で、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取り扱われている。 ・すべての生徒に使いやすく、分かりやすいよう文字・配色等が配慮されている。 ・情報モラルについて、2 ページにわたり取り上げられている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ページごとに目標と学習課題が厳選されており、生徒が学習する上で何を意識して学び考えたら良いのかが明確に示されている。 ・生徒の発達段階に応じた分量でわかりやすい表現で記述されており、重要語句は太字で示されている。 ・写真、挿絵、図、表などの資料が生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ・ほぼ全てのページにおいて二次元コードが右上に記載されており、該当の項目の理解や実習の補足説明をタブレット端末から自分のペースで学習が可能となっている。二次元コードの位置が固定されていることで支援を要する生徒への指示が通りやすいなど配慮がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・めあてとキーワードだけでなくわかりやすいマークが記載されており学習内容のカテゴリー分けがしやすくなっている。 ・生徒の発達段階に応じた分量でわかりやすい表現で記述されており、重要語句は色を変えて太字で示されている。 ・写真、挿絵、図、表などの資料が生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ・二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報を閲覧することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じた分量でわかりやすい表現で記述されており、重要語句は太字で示されている。 ・写真、挿絵、図、表などの資料が生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ・技術者のメッセージを紹介する箇所を設け、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう配慮されている。実習例以外のページにおいて二次元コードが右上に記載されており、該当の項目の理解や実習の補足説明をタブレット端末から自分のペースで学習が可能となっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して「A 材料と加工の技術」「B 生物育成の技術」「C エネルギー変換の技術」「D 情報の技術」の各内容を学習できるよう組織・配列されている。 ・他教科や小学校での学習と関連している箇所を随所にマークで示している。ページ下部の「技術の工夫」では、用語解説や技術の工夫が紹介されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して「A 材料と加工の技術」「B 生物育成の技術」「C エネルギー変換の技術」「D 情報の技術」の各内容を学習できるよう組織・配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して「A 材料と加工の技術」「B 生物育成の技術」「C エネルギー変換の技術」「D 情報の技術」の各内容を学習できるよう組織・配列されている。 ・各内容の扉ページで、他教科や小学校での学習との関連を示している。ページ下部の「豆知識」で用語解説や技術の工夫が紹介されている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合ってみよう」や「活動」マークの部分にグループで意見を交流する活動が設定されており、言語活動を充実させるよう工夫されている。またキャラクターの発言により、生徒が主体的に学習を進められるように工夫されている。 ・生徒の発達段階に応じて取り組めるように示されている。 ・問題を発見し、課題を設定する場面で記述欄を設けたり考えをまとめたりするための工夫がなされている。また二次元コードも豊富で想像し理解しやすい内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」にはグループで意見を交流する活動が設定されており、言語活動を充実させるよう工夫されている。またキャラクターの発言により、生徒が主体的に学習を進められるように工夫されている。 ・製作や実習に必要な知識が別冊で付録しており、製作や実習のときでも持ち運びやすく、また絵やイラストが多くありわかりやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合ってみよう」や「課題」で、グループで意見を交流する活動が設定されており、言語活動を充実させるよう工夫されている。またキャラクターの発言により、生徒が主体的に学習を進められるように工夫にされている。 ・問題の発見と課題の設定、設計・製作（制作）、評価・改善が各単元の終わりに設定されていて、生徒にもわかりやすくなっている。 	
発展的な学習・補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の最後に技術者のメッセージを紹介する箇所を設け、生徒の勤労観、職業観を育むことができるように配慮されている。また、ほぼすべての見開きページに二次元コードを配し、学習に役立つ情報を取得できる工夫がされている。 ・コンピュータの基本操作や主要なソフトウェアの基本操作が巻末にまとめて記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の最後に技術者のメッセージを紹介する箇所を設け、生徒の勤労観、職業観を育むことができるように配慮されている。また、必要に応じて二次元コードを配し、学習に役立つ情報を取得できる工夫がされている。 ・コンピュータの基本操作が別冊にまとめて記載されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の最後に技術者のメッセージを紹介する箇所を設け、生徒の勤労観、職業観を育むことができるように配慮されている。また、ほとんどの見開きページに二次元コードを配し、学習に役立つ情報を取得できる工夫がされている。 ・コンピュータの基本操作が巻末にまとめて記載されている。 	

家庭

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編新しい技術・家庭 家庭分野	教育図書	新技術・家庭 家庭分野	開隆堂	技術・家庭 家庭分野
項目	所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なQRコンテンツが373個あり、技能動画などを見ることができ、家庭学習などでもオンライン学習ができる。 ・コンテンツを使い、献立を立てることで、1～6群の栄養バランスを作ることができ、興味を持って献立作りに取り組むことができる。 ・生徒の発達にあった順番で並んでおり、個々の生徒の成長に合っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツが136個あり、技能動画などを見ることができ、家庭学習などでもオンライン学習ができる。 ・アニメや漫画などを例にあげ、生徒にわかりやすい内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツが200個以上あり、技能動画などを見ることができ、家庭学習などでもオンライン学習ができる。 ・写真や絵が豊富で美しく、生徒の興味関心につながる。 	
人権の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて、各領域に具体的に表されており、生活や社会に繋がれる内容になっている。 ・カラーユニバーサルデザインが採用されており、すべての生徒が学習しやすいように配慮がされている。 ・フェアトレードやフードマイレージなどの内容もわかりやすく取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会、未来へのつながりが表されており、生徒のキャリア教育にもつながる内容である。 ・児童虐待などの具体的な表なども掲載されており、わかりやすい内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な立場の人の話が取り上げられており、生徒にわかりやすい内容になっている。 ・各領域でSDGsについて触れられており、生活や社会の学習を繋がられるように工夫されている。 ・LGBTについての説明があり、実際の取り組みや性の多様性について考える教材になっている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁の使い方や手縫いの進め方では左利きの例も取り上げられている。 ・基本ページでは「目標」「始めの活動」「まとめの活動」などが全て同じ位置に配置され、見やすくなっている。 ・実物大の写真や食品や料理、献立の写真が充実しており、生徒の興味・関心を引き出そうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・危険の伴う実習のページには赤色で安全マークが示されており、安全で衛生的な実習を行うことができるように配慮されている。 ・中学校以降で学ぶ漢字にはふりがながふられており、学習に取り組みやすいよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・実習・製作のページが横流れに統一されている。特に調理実習のページでは基本的に4段階で作業手順が写真付きで示されており、理解しやすい。 ・家庭内事故例のイラストや、消費生活の仕組みのイラスト、消費者の権利と責任のイラストなど、視覚的にわかりやすいイラストが多々あり、イメージを持ちやすい。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」は最後にまとめられ、内容を複合的に選択して履修できるようにされている。 ・各編のページに小学校家庭科で学習した内容のキーワードが記載されているため、振り返りながら中学校での学習を進めていくことができる。 ・基本ページでは生徒が毎時の学習内容を一目で見渡せるように、見開きになっている。 ・家族・家庭生活のうち、中学生に関わりの深い内容から始まり、食生活、衣生活、住生活、消費生活と環境、最後に家族・家庭生活の分野へと再び繋がっていく構成が、3年間の学習の流れとわかりやすく沿っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」は最後にまとめられ、内容を複合的に選択して履修できるようにされている。 ・知識・技能を身に付ける導入(見つめる→見つめてみよう)と本文ページ(学ぶ)、思考力・判断力・表現力を養うページ(学びを生かそう)が繰り返し掲載されており、資質・能力が身につくように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校に関連が深い内容は「発展」として扱われている。 ・食生活の最後ページに「持続可能な食生活を目指して」があり、健康のことだけでなく、環境にも視点を置いた学習ができる。 ・章の終わりには学習のまとめがあり、問題を解くことで振り返ることができる。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの症状や原因食物の発症パーセンテージについて詳しく書かれており、アレルギーについて関心を引く工夫がされている。 ・単元ごとに色使いが統一されており、第〇編の〇章を学習しているかが非常に見やすくとまとめられている。 ・実物大の幼児の物をもとに幼児の体などの特徴等を読み取ることで、幼児への理解を深め、自分自身の成長を実感することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自立度チェックや学習のふりかえりなどのページがあり、自己評価の工夫がなされている。 ・教科書全体を通してイラストや実物の写真が多く、生徒の関心を引きやすいよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・なりたい職業ランキングや流行したものなどが掲載されているため、興味・関心を高め、自身の幼少期を振り返る良いきっかけとなっている。 ・各ページの二次元コードでの動画数が多く、扱いやすい。 ・様々な実験によって、目に見えない栄養素を見える化しており、栄養素の存在について理解しやすいよう工夫されている。 	
発展的な学習・補充的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最後に大切な用語の確認があり、どこで何を学習したかを振り返りやすい。 ・家庭内事故の場面想定が実際の生活とリンクしたものになっているため、自身の生活と結びつけやすい。 ・商品購入のシミュレーションがあるため、学習の振り返りや発展学習として、生活場面に生きて働く知識や思考の定着を可能にしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の最後に「学びを生かそう」というページがあり、単元ごとのまとめや生活の課題と実践の例も載っているため、発展的な学習に取り組みやすくなっている。 ・単元ごとに「センパイに聞こう」のページがあるため、これまで学習してきたことがどんな風を生かされているのかを知ることができ、学習全体の振り返りができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での生活費用や出生から中学生までの生活を支える公的なお金についての掲載があり、家族・家庭生活や消費生活への関心を高める工夫がされている。 ・加工食品を活用した実習例によって、日常食と非常食の融合がなされており、より発展した学習内容が取り上げられている。 	

英語

教科用図書選定資料（案）

教科書	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	NEW HORIZON	開隆堂	Sunshine	三省堂	NEW CROWN	教育出版	ONE WORLD	光村図書	Here We Go!	啓林館	BLUE SKY
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学年のテーマを明確に設定することで、学習の目標やめざす姿が明確になり、見直しをもって授業に取り組めるようになっている。 単元末活動からの逆向き設計で言語活動が設定されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学期末のまとめの活動として Our Project を配置することで最終目標が明確にされ、逆向き設計の指導計画が立てやすい。 Scenes, Review&Retell, Action 頁にはチェック欄が設けられており、目標の達成状況をふりかえることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> Lesson のゴールに向けて、写真や動画で学びの見直しを立てやすい設計になっている。 言語活動ではどのようなことに留意して取り組むべきかが示され、ふり返りを次の活動に生かすことができるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 中学卒業までと1年間の目標を立ててから学習に取り組める設計になっている。 Lessonの扉ページにGoalが掲載されており、目標を意識しながら、見直しを持って主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学校と中学校で、CAN-DOに共通点や系統性があり、中学校では小学校で身につけた知識・技能を定着させたり、何度も触れてより深めたりしながら、できることを増やせるよう、目標設定に工夫がなされている。 言語活動では、コミュニケーションの目的・場所・状況が明示されており、理解したことを表現につなげられるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の目標をInputとOutputの2本柱で設定し、「この学習に取り組むことで何ができるようになるか」のイメージが持ちやすいよう工夫されている。 単元末の活動後に、目標に基づいて自己評価できるふりかえり欄が設けられている。 	
取扱いの権	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーや国籍・文化など、多様な生き方に配慮した記述や内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーや国籍・文化など、多様な生き方に配慮した記述や内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーや国籍・文化など、多様な生き方に配慮した記述や内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーや国籍・文化など、多様な生き方に配慮した記述や内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーや国籍・文化など、多様な生き方に配慮した記述や内容になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーや国籍・文化など多様な生き方に配慮した記述や内容になっている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> 学年のテーマを明確にし、スモールステップで無理なく学べ、学習の成果を見とる活動が適切に設置されている。 段階的に読み物の語数を増やし、発達段階に合わせた課題設定がされている。 1年の夏休みまでに扱う文法項目を整理し、無理なく余裕を持って取り組めるようになっている。 <p>(文量:少 難易度:中 特徴:アクティビティーに重点)</p>		<ul style="list-style-type: none"> SCENES では、マンガ形式のやり取りから学習内容の導入ができるように工夫されている。音声で導入ができるだけでなく、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われているのか視覚的にも理解しやすい。 SCENES のストーリーは全セクションを通してつながりがあり、内容を想像しながら学習に取り組めるよう工夫されている。 自己表現活動が多く設けられている。 ターゲット事項を簡潔に学べる。 目的・場面・状況が明確なため、視覚的に新出表現を理解できる。 <p>(文量:標準 難易度:中 特徴:導入部分の SCENES)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 読む+書く、読む+話す、など4技能をうまく組み合わせ、効果的に学習できるように工夫されている。 導入ができるだけでなく、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われているのか視覚的にも理解しやすい。 伝統的な読み物教材もあり、新、旧の良さが組み合わせられている。 外国語学習の学び方やアドバイスが各学年、段階を踏まえて入れられている。 <p>(文量:少 難易度:易 特徴:新旧の調和)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 1年生のLesson1,2では、マンガ形式の短い会話の紙面にし、読むことの負担を減らしている。 「生きて使える英語」にフォーカスしたページが充実しており、即興的なやり取りの練習が盛り込まれている。 読み物教材では多様な話題に触れ、思考や共感の力を高められるよう工夫されている。 <p>(文量:多 難易度:中 特徴:やり取り)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ストーリー性が高く、身近で日常的に使えるフレーズが多く使用されており、登場人物と共に英語で学校生活を送っているかのような体験が得られるよう工夫されている。 1年生のLet's Be Friendsでは、小学校で学習した表現や語句を使って活動できるように構成されており、小学校でできるようになったことを生かせる言語活動が充実している。 1年生のUnit3までは読み書きの負担を少なくしている。 Partは左頁に本文、右頁に言語活動という構成で、インプットからアウトプットまでの流れがイメージしやすい。 <p>(文量:標準 難易度:中 特徴:自由度高い)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 小学校で慣れ親しんだ表現が1年のUnitを通して文法的に整理されており、より質の高いアウトプットができるよう工夫されている。 聞く、読む量が段階的に増やされており、聞くこと、読むことに重点が置かれている。 今日の課題、日常的な話題から社会的な話題まで多岐に渡った内容になっている。 <p>(文量:標準 難易度:易 特徴:見開きで完結)</p>	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 1ページあたり1時間を基本とした構成になっており、学習の流れを見通しやすい。 既習事項をスパイラルに学習できる。 Unit の前半(短めの本文)により重要な文法事項が配置されており、生徒の学習負担に配慮している。 		<ul style="list-style-type: none"> 指導、学習が余裕を持ってできるよう編集されており、柔軟な授業展開が可能である。 4技能5領域の言語活動がバランスよく配置されており、かつ複数の技能、領域を組み合わせている。 他教科と横断的な指導がしやすい題材を使用している。 		<ul style="list-style-type: none"> イラストを交えて文法項目が丁寧に説明されている。 Lessonごとの目標が明示されており、読んで理解を深め、書いて伝えることによって自主的に振り返りができるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> Lesson末のTaskで単元の目標に関連した活動が入れられており、5領域がバランスよく習得できるように組織・配列されている。 特に、既習言語材料の定着を図るために、ペアワークを通して「話すこと・やり取り」を重点に置いた機会を豊富に設けられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学習した内容を効果的に復習できるように組織・配列されている。 4技能・5領域をバランスよく学べるように配慮されており、Unitごとに目標が明示され、振り返りのコーナーで達成度を評価できる。 各学年とも年間8Unitから成り、無理なく、柔軟な指導計画を作成できるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 各学年の目標に基づき、言語材料の配列が工夫されている。 スモールステップで取り組めるように組織されている。 他教科との連携を図り、教科横断的な学習ができる。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 3回視点を変えて読解のポイントを絞って英文を読むラウンドリーディング活動で、適切かつ効果的に読む力が身につく工夫がされている。 単元を貫く問いを Unit のタイトルに設定し、目的意識を持ちながら考えを深め、学習を進めていけるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> Coffee Breakでは、本文題材に関連した話題が取り上げられており、生徒の学習意欲を高めることが可能な配慮がされている。 Power-Upでは、実生活に即した具体的な目的や場面、状況を設定し、よりリアルな場面設定で4技能の能力を伸ばすことができるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> テーマや題材に関連した身近な事からについてペアで即興のやり取りをするSmall Talkで言語活動に取り組みやすくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の手順や留意点をわかりやすく示したものの学習上必要なものを適所に取り上げている。 本文を生かしたアウトプット活動のThink&Try!では、巻末に活動例が掲載され、苦手な生徒も取り組みやすいよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの目的や場面、状況の理解が進むよう、スライドアニメや実写のドラマ映像などが用意されている。 登場人物になりきってせりふの続きを考えるYou're the Writer!では、ストーリーをもとに思考力・判断力・表現力を働かせる工夫がされている。 とじこみのスピーキング教材Let's Talk!でUnitの学習と結びつけた帯活動ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力を養う取り組みが体系的にまとめられている。 即興的にやり取りする力を育成するための活動として、Unitの各PartにEnjoy Chattingが設けられており、本文内容に関連する問いに基づき、ペアやグループでのやり取りやSmall Talkに活用できる。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから音声や動画などのデジタルコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びが可能になっている。 QRコンテンツが充実しており、デジタル用例辞典(本文検索機能)などが利用できる。 学習者用デジタル教科書では、Google翻訳機能が利用可能で、外国につながるある生徒の学びを支援している。 冒頭にある「学び方コーナー」では、英語学習のコツが示され、家庭学習でも活用できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから音声や動画などのデジタルコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びが可能になっている。 QRコンテンツの単語学習アプリでは、4つの出題パターンで新出単語・熟語の定着を高められるように工夫されている。 本文の題材に関する補足情報があり、より理解が深まるよう配慮されている。 言語の使用場面を扱うコーナーが多岐にわたっており、様々な角度から学ぶことが可能である。 小学校と同じ4線幅で「書くこと」へのつまずきを軽減する工夫がなされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから音声や動画などのデジタルコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びが可能になっている。 学習者用デジタル教科書では、Google翻訳機能が利用可能で、外国につながるある生徒の学びを支援している。 学習者用デジタル教科書では、本文の発音を吹き込んでAIが判定する、発音チェック機能が利用可能である。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから音声や動画などのデジタルコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びが可能になっている。 学習者用デジタル教科書では、録音・再生機能で自分の発話を録音し、発音を確認しながら学習を進められるようになっている。 Activity Plusでは、即興的なやり取りの力を伸ばす練習や、現実的な場面に即した表現を学び、「生きて使える英語」の能力を伸ばせる。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから音声や動画などのデジタルコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びが可能になっている。 QRコンテンツが充実しており、ピックアップカードの並べかえは、導入としてストーリーの概要の理解度を確かめる活動に活用できる。 学習者用デジタル教科書では、自分の発話を録音して聞くことができ、発音を確認しながら学習を進められるようになっている。 巻頭の「ICTを活用しよう」で英語の学習に効果的なICT機器の活用方法を、個別学習・協働学習の場面別に紹介し、GIGAスクール時代の英語学習を後押ししている。 色覚の多様性に配慮した紙面づくりで、色で区別だけでなく、形を手がかりにすることもできるよう工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードから音声や動画などのデジタルコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びが可能になっている。 学習者用デジタル教科書では、教科書の随所にあるQRコンテンツ等を整理し「お道具箱」にまとめられており、アクセスしやすく工夫されている。 小学校英語でも採用されている5:6:5の4線を使用し、紛らわしい文字の区別ができるよう工夫されている。 	

道徳

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい道徳	教育出版	中学道徳 とびだそう未来へ	光村図書	中学校「道徳」 きみが いちばん ひかるとき	日本文教 出版	中学道徳 あすを生きる	学研	新版 中学生の道徳 明日への扉
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 現代的な諸課題について、三年間を通じて計画的に学習が進められるよう内容が系統的に盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 現代的な諸課題について、三年間を通じて計画的に学習が進められるよう内容が系統的に盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 現代的な諸課題について、三年間を通じて計画的に学習が進められるよう内容が系統的に盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 現代的な諸課題について、三年間を通じて計画的に学習が進められるよう内容が系統的に盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 現代的な諸課題について、三年間を通じて計画的に学習が進められるよう内容が系統的に盛り込まれている。 	
取人権の	<ul style="list-style-type: none"> 各学年にユニット「いじめのない世界へ」を配置している。 多面的多角的にいじめ問題へ向き合う教材がある。 各学年、夏休み前に情報モラル教材が配置されるとともに、情報機器の活用について家庭でも確認できるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> いじめや差別について多種多様な教材から考えていくように配慮されている。 コミュニケーションスキルを学ぶコラムもあり、アサーション、アンコンシャスバイアス等を取り上げ自他を尊重する豊かな人間関係作りを実践的に考えることができるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分も他者も大切にすること人権感覚を第一に構成されている。教材挿絵の登場人物（人種、身体的特徴）についても多様性が意識されている。 「いじめを許さない心について考える」ユニットを全学年に配置されている。大きな読み物教材と具体的な活動を伴う「まなびをプラス」を組み合わせ、問題を自分事として捉えられるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「多様性」をコンセプトの一つに掲げ、全ページにわたり人権面に配慮されている。性別、人種、身体的特徴に偏りのない内容とイラストになっている。 アイヌ民族について新しく教材として取り上げている。また、インクルーシブの考え方、共生社会の実現について取り上げている。 いじめ問題を重点的に取り扱い、「いじめと向き合う」ユニットを年間に複数配置し、集中して継続的に考えられるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 最も重要なテーマを「いのち」に置き、内容項目「生命の尊さ」について各学年に3教材が配置されている。 身体や生活に不自由を抱える人々との関わりや支援、障がい理解、多様性など、様々な教材が用意されている。 SNS等ネット時代特有のいじめの解決方法を考えるようになっている。 	
発達段階への考	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題、生命の尊さを扱った教材を中心に、情報モラル、SDGs、多様性など、現代社会の課題を考えさせる内容を取り扱っており、段階的に学びを深められるよう考慮されている。 読み物教材だけでなく、漫画やグラフ、動画のコンテンツを充実させ、生徒が興味関心をもてるように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> いじめや差別について考える教材が体系的に配置されており、複数の教材を組み合わせたユニットが学年ごとに作られている。 仲間とのつながりやキャリア教育に対応した教材を取り上げている。 		<ul style="list-style-type: none"> 人物の生き方、漫画、イラストなどを扱い、学年ごとにさまざまな題材に触れられるよう配慮されている。 生命の尊さに視点を置いているものが多く命の大切さについて深く考えられるように編集されている。 SDGsとの関連性をもたせた教材が多く取り上げられており、人権課題に向き合い、段階的に自らの学びを深められるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> いじめと向き合う教材が学年ごとにまとまって構成されている。 多様性の尊重とSDGsに関わる題材を多く取り扱い、「よりよい社会」について考えられるよう配慮されている。 定番の読み物教材だけでなく、漫画やアニメ、動画が充実しており生徒が理解しやすいように配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化、キャリア、多様性などのさまざまなテーマを教材として取り上げられている。 段階的に学びを深められるよう扱う教材の内容が工夫されている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の生活実態に合わせ、行事の時期を考慮した教材の配列になっている。 学期ごとに振り返りシートが用意されており、自分の学びについて振り返ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領で示されている4つの視点ごとに教材の色、絵柄が変えられており、各学期にバランス良く配列されている。 取り組みやすさが重視されており、漫画や絵本を導入して扱い、理解しやすい構成になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の実態と生徒の成長を考慮し、学期ごとにそのときに必要と考えられる教材が取り上げられている。 1つの教材に複数の写真やイラストを用い、視覚的にもわかりやすく配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学校行事と実施時期の関係について考慮されており、3年間を見通した構成になっている。 各学年とも、1年間の学習時期を想定して教材が設定され、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、教材をユニット化することで重点的に学んだり、他教科との関連や現代的な諸課題のテーマを意識し学んだりすることができるように配列されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 1つのテーマに関して複数の教材がユニットとして組まれ、体系的に学べるような配列になっている。 巻末には学期ごとに自分の学びを振り返るページがあり、自己の成長が感じられる構成となっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「NHK for school」の番組ストーリーを紙面に落とし込んだ教材が充実している。 小学校で取り扱われている教材にもう一度出合ったり、同じ登場人物の成長を3年間かけて追っていったりするなど小中連携・学年間連携の工夫がされている。 		<ul style="list-style-type: none"> 小学校から、中学校、さらにその先の進路とのつながりを意識して、生徒の発達段階に即した教材を系統的に配置している。 		<ul style="list-style-type: none"> 1年間をめざす姿を思い描き、見通しを持ち、振り返りができるような手だてが用意されている。具体的には、日々の学びを記録できる「学びの記録」が設けられており、生徒の振り返りや教員の評価に活用できるようになっている。 内容項目が、イラスト等で視覚的に伝わるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 別冊『道徳ノート』（冊子及びデジタル）は1教材1ページの構成になっており、毎時間の学びをわかりやすく積み重ね、振り返ることができるようになっている。また、現場の教員の声をもとに改善が行われ、全ての教材で発問欄を空欄にできることや自由欄が作られたことなど授業に合わせて柔軟に活用することができるようになっている。 二次元コードからデジタル化したワークシートにアクセスしたり、生徒が書いた手書きの文字をデジタルデータ化したりする機能も付加されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 複数の教材を連続して学び、テーマについての考えを深める「ユニット学習」が複数設定されている。それぞれの内容項目を個別で学ぶだけではなく、関連させながら学びを深めていくことができるように工夫されている。 	
補足的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルスキルについてのコラムを通じて、対人関係に関する学習が充実している。（アンコンシャスバイアス・アンガーマネジメント・コグトレなど） 哲学対話（pc4）等を取り扱った学習等、近年注目されている学習方法が取り上げられている。 		<ul style="list-style-type: none"> 道徳科から「持続可能な社会」「コミュニケーション」「防災」「情報モラル」などの視点で学びを広げていくことができるようになっている。特に、多様な人物の生き方をロールモデルとし、「自分らしく、その人らしく」生きることの大切さを学ぶことができるような教材が充実している。 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が問いを持ち、他者と共に考えるきっかけになるような「問い作り」についての教材が充実している。『感動』『尊重』『学び』等の本質を探っていく中で、①与えられた問いに答えるだけでなく、自ら問いを立てて考える力、②異なる価値観を持つ他者と対話する中で合意形成の力を育むことができるように構成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> アンガーマネジメントやアサーションなど、自分の感情との向き合い方、人とのコミュニケーションの取り方を身に付けるためのコラムが充実しているとともに、内容項目と結び付けて、ソーシャルスキルトレーニングができるようになっている。 「あすへのメッセージ」や「視野を広げて」では学習した内容を広げたり、多面的・多角的な視点から振り返って考えたり、さらに新しい見方や考え方を生み出したりできるよう配慮されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「クローズアップ」では、「環境」「インターネット」「文化」「心理学」などを取り入れ、生き方の選択肢を増やすようにしている。また、内容項目と結びつけ、広げていくことが可能となっている。 	

道徳

教科用図書選定資料

教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
		あかつき教育図書	中学生の道徳 たったいちどの、 きみのみらいへ	日本教科書
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 ・現代的な諸課題について、三年間を通じて計画的に学習が進められるよう内容が系統的に盛り込まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が取り上げられている。 ・現代的な諸課題について、三年間を通じて計画的に学習が進められるよう内容が系統的に盛り込まれている。 	
取人権の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命尊重」「いじめ防止」を最重要課題としている。いじめ問題との関連を考慮した全体構成となっている。いじめを考える教材をユニット化し、学年ごとに連続して複数配置されている。 ・発達段階に合わせて教材が配置され、継続した学びができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル（スマホゲーム中毒、ファクトチェックの重要性、生成AIでの宿題等）の教材が豊富に取り上げられている。 ・いじめにつながるシーン、特に学校生活の中でいじめに陥りやすい場面を取り上げられている。 	
発達段階への考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の成長に合わせて学習のテーマを示し、見通しを持った学習を促すとともに、いじめの防止、人権尊重に関わる内容を全学年で取り上げ、いじめ防止の効果を高められるよう配慮されている。 ・地域教材や人物を扱った教材が多く含まれている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の発達段階を考慮して、学年を追って教材の発問内容を深化させている。 ・情報モラルの教材を多く取り扱っており、現代社会の課題として深く考えられるようになっている。 	
組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活実態に合わせ、行事の時期を考慮した教材の配列になっている。 ・各教科における道徳教育との関連を巻末の付録に取り上げており、他教科との関連を意識できるようになっている。 ・「学習の記録」のページがあり、自己の学びを振り返ることができるようになっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教材が内容項目順に配列されている。 ・テーマ別の目次も設けられており、各校で教材の順番を選択することができるようになっている。 	
学び方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・定番の教材だけではなく、生徒にとっても馴染みのあるアスリートを扱った教材や、漫画で読み解く教材が設定されている。 ・動画や web ページなどのデジタルコンテンツが充実しており、授業の導入や終末で学びを広げることができるように工夫されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「ウェルビーイングカード」を導入し、内容項目そのものについて学ぶだけではなく、生徒自身が、自分はどのような価値を大切にしているのかを意識したり、それについて生徒どうしでの議論をサポートしたりすることができるように工夫されている。 	
補充的な学習・発展的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技や話し合いなどを取り入れた「マイプラス」が設定されている。 ・SDGs の視点から、持続可能な社会に向けて、生徒の視野を広げていくためのコラムなどが設定されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に活用できる「ウェルビーイングカード」が用意されている。また、「環境・資源」「キャリア形成」「生命尊重」「人権・福祉ジェンダー」などの視点で学びを広げることができるようになっている。 	